

令和7年度 平岡栄養士専門学校 自己評価表			5…完璧 4…かなり進んでいる 3…普通 2…やや足りない 1…ほとんど進んでいない 0…該当しない			学校関係者評価	
評価項目			自己評価	現状の認識・評価	今後の課題	学校関係者評価	学校関係者評価の概要
人材育成理念・目的	①	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	5	社会の即戦力たる、栄養士育成を行うことを明示している	特になし	5	学校の理念・目的・育成人材像は明確に定められ、かつ内外的にも明示されていることを認める。
	②	学校の理念・目的・育成人材像について、学生、保護者、学校関係者へ周知されているか	5	本校要覧、学園新聞、ホームページ、SNS公式アカウントなどを通じて、適時、本校の理念、目的、育成を目指す人材像を発信している。定期的なオープンキャンパス、ガイダンス参加や、高校訪問を通じ、本学への理解を学校関係者に周知している。	継続が重要である。	5	問題なし。
	③	学校の理念・目的・育成人材像は社会のニーズに適合しているか？	5	修業期間2年間で2回実施している、学外実習（インターン）を通じ、定期的な、栄養士業界との情報交換を行い、本学が目指す人材育成が専門業界に求められていることを確認している。	特になし	5	栄養士業界との情報交換は、授業を担当する講師で共有されており、専門業界に求められる人材育成のあり方を常に模索していく姿勢がある。
学校運営	①	目的に沿った学校運営がなされているか	5	即戦力の育成に必須の設備投資を定期的に実施しており、設備を活用した実践的なカリキュラム構成を行っている。加えて、人間性・社会性の涵養を目的に学校行事も盛んに実施している。	特になし	5	設備を活用した実践的なカリキュラム構成については、半期ごとに見直しを実施している点、また人間性・社会性の涵養を目的にした学校行事についても、より効果的な運営をめざし実施されていることを評価する。
	②	学校運営は、校則等に定める組織において、適正に運営されているか	5	理事会・評議員会の意思決定を基に、適正な組織運営を実施している。	特になし	5	理事会・評議会が開催され、かつ適正な組織運営が実施されている。
	③	就労・人事・給与に関する規定は整備されているか	5	問題なく整備、教員室内に公示している。加えて、弁護士、司法書士、公認会計士、社会保険労務士を顧問として設置している。	特になし	5	問題なく整備・公示されていることを評価する。
	④	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	学生に対して、定期的に周辺住民への迷惑行為の禁止指導、SNSなどでのモラル順守、インターンの際の社会人としてのルール順守を指導している。加えて、学生懲罰規定を定め、明確に違反行為を定めている。教員に対しても、守秘義務、ハラスメント行為の禁止などを、就労規則に明示し、新人研修やOJTを通じて継続的に指導しているが、問題の根絶ができておらず、途上である。	毎年学生が入れ替わり、教員の新規採用もある以上、根気強く継続指導することが必要。	3	WEB上への書き込みなど、社会人としての常識を教育する必要がある。
	⑤	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	5	掲示板での公示に加え、ホームページ上での情報公開を行っている。	特になし	5	
	⑥	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	Salesforceを導入し、企業、高校、学生、卒業生情報を一括管理している。ワークフローを導入し、業務プロセスの可視化、情報共有促進、業務効率をさらに向上させている	更なる業務の効率化に向けて体勢を整える。	5	最新のクラウド環境を導入する姿勢は高く評価できる。
教育活動	①	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	5	栄養士資格の取得に必要な必修科目を法規定時間を遵守して設定している。そのうえで、即戦力育成に必要な科目については法規定以上の履修時間を確保し、内容についても独自の工夫を行っている	今後も時代に合わせて科目編纂を検討していく	5	即戦力養成の教育理念に沿った教育課程の編成・実施に加え、緻密な見直し、工夫が実施されていることを評価する。
	②	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	5	学習時間の確保と並行して、学期末に実施する筆記、実技試験で目標とする水準への学力、技術到達を確認している。	特になし	5	修業年限に対応した教育到達レベルおよび学習時間の確保は明確になされている。
	③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	5	栄養士法に定める、資格取得に必要な科目要件を充足しつつ、即戦力育成に必要な技術知識を身に付けられるよう、科目編纂を実施している	特になし	4	現在、栄養士法に定める資格取得に必要な科目要件は明らかに充足しており、即戦力育成に必要な技術知識を身に付けられるよう科目編纂されているが、今後、社会のニーズにあわせて、定期的な見直しをしていくことが必要と考える。
	④	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	5	独自科目の就職対策で、専門業界の実態と、キャリアアップ、社会人としてのスキルを指導している。加えて現役の職業人を招聘し、実践的な職業知識の教授を行っている。そのほか、お茶の入れ方講座など、社会人としての常識を教える、実践的な講座も実施している。	特になし	5	独自科目の就職対策の授業は1年次から2年次にかけて実施されており、専門業界の実態と、キャリアアップ、社会人としてのスキルを段階的に繰り返し指導している。加えて現役の職業人を招聘し、実践的な職業知識の教授を実施しており、これらは生徒による評価も高い。
	⑤	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	5	現状、学外実習を通じた現場との意見交換や、現役で専門業界で活躍する非常勤講師とのカリキュラム検討会議、意見回収、また地元職業団体合合への参加を通じたヒアリングを行っている。		5	学外実習を通じた現場との意見交換や、現役で専門業界で活躍する非常勤講師とのカリキュラム検討会議、意見回収、また地元職業団体合合への参加を通じたヒアリングについては、積極的に実施されており、その結果としてカリキュラム内容への反映もされている。
	⑥	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	5	学外実習（教育実習）と学則に明示して実施している。本人の希望による調整を行い、学校斡旋の下、インターンができるよう整備している。	特になし	5	学外実習（教育実習）と学則に明示して実施しており、体系的に位置づけられている。
	⑨	授業評価の実施・評価体制はあるか	5	前期と後期のタイミングで生徒への科目評価アンケートを実施している。	特になし	5	アンケート内容を授業の改善に反映することが重要。
	⑩	職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	0	コロナ禍の影響で、導入検討自体が停止していたが、今後積極的に取り入れていく所存である。	今後、積極的な導入を検討する必要あり。	0	第3者評価を将来的に導入することが望ましい。

評価項目			自己評価	現状の認識・評価	今後の課題	学校関係者評価	学校関係者評価の概要
	⑪	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	5	卒業時の国家資格取得、あるいは受験資格取得を充足するよう、法規定に沿って出席状況、試験得点での評価基準を定めている。評価基準は学生要覧に明記し、学生に対して公示している。	特になし	5	法規定に沿った出席状況、試験得点での評価基準が定められており、学生に対しても明確に公示されている。
	⑫	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	5	卒業後、実務経験の後に生じる上級資格の国家試験受験資格取得を見越し、在学中に対策講座を特別科目として設定している。	特になし	5	在学中に行う対策講座の目的や意義を、学生に十分理解させた上、実施しているため、卒業後に実務経験を経て国家試験を受ける卒業生も多い。
	⑬	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	5	栄養士法に基づいた栄養士養成施設として、資格取得に必須の科目を指導可能な教員を確保している。そのうえで豊富な現場経験を有した人材を教員として継続的に採用しており、栄養士の現場との温度差が無いよう腐心している。		5	専任教員、兼任教員ともに、豊富な現場経験を有した人材を継続的に採用しており、栄養士の現場との温度差が無いよう、また教員間の温度差がないよう努力が見られる。
	⑭	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）を確保するなどマネジメントが行われているか	5	栄養士業界で職場の管理職として栄養士の指導や学外実習の受け入れを経験した人材を優先的に確保するように努めている。		5	栄養士業界で職場の管理職として栄養士の指導や学外実習の受け入れを経験した人材を登用することにより、より現場のニーズに即した学生の教育が可能となっている。
	⑮	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	各業界団体が実施する講習会や、学会への教員参加を通じスキルアップや知識習得を図っている。加えて、希望学生のコンクール参加、個別指導を通じて、教員も指導スキルを磨いている。		4	栄養士会が実施する講習会や、学会への教員参加、また希望学生のコンクール参加についての個別指導など、教員が指導スキルアップできる環境を整えている。夏休み中の課題として取り組ませている。
	⑯	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	定期的な面談などを通じて、業務能力の向上指導を上長より実施している。加えて高度な専門性を要する、実習・師範授業については、授業計画書、報告書を毎回作成し、その内容を上長が確認して指導、日々継続的な技術・知識の向上を図っている。		5	各授業、実習示範などについては計画書と報告書の活用により、継続的な知識・技術の向上を図れていると評価する。
学習成果	①	就職率の向上が図られているか	5	卒業見込みの希望者就職率100%を達成している。		5	資格を取得するだけでなく、栄養士として就職させることを重要視し、そのための努力を行っている点において高く評価できる。
	②	資格取得率の向上が図られているか	—	卒業時に栄養士資格を自動的に付与されている。		—	
	③	退学率の低減が図られているか	4	退学率5%未満を目標に、担任を中心として指導体制を確立。毎日行う職員会議で学生の問題行動について教員間で情報や指導方針を共有している。特に無断欠席から不登校につながるケースが多いので、徹底した出欠管理を実施。具体的には、欠席した生徒への担任からの口頭指導に始まり、一定数を超過し欠席した科目が生じた場合、保護者への通知はがき、さらにそれ以降も欠席する場合は保護者を交えた担任との3者面談を全員に実施している。さらには、各期末に家庭連絡票を全保護者に送付し、生徒の出欠状況、生活態度についての担任の見解を確認できるようにし、学校と家庭の連携による生徒指導体制を確立している	新就学支援制度の利用者が増加。学資面での支援は安定し、退学者減につながっている	5	特に問題はない。
	④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	学外実習の際に、職員で事業所訪問を実施し、卒業生の勤務状況について確認を行っている。また毎年、近況確認のはがきを卒業生に送付し、現状の把握に努めている。優秀な卒業生については、要覧で紹介を行い、専門職を志向する人たちの参考としている。入手した情報は、Salesforceへ入力し、全職員が把握、共有可能な環境を構築し、広報職員を介して、卒業生の出身高校へも活躍を報告している。	SNSを活用した、卒業生情報の把握を強化したい。	4	卒業生の勤務状況については積極的に確認を行っている。様々な手段で入手した情報は、Salesforceへ入力し、全職員が把握、共有可能な環境を構築していることは評価できる。
	⑤	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	活躍する卒業生を、学内就職ガイダンスや、授業に招聘し、専門職を志向する生徒たちのモデルケースとしている。加えて、現場教育に必要な情報・経験を聞き取り、カリキュラム改善につなげている。		3	生徒達の専門職への意識を高める助言が出来、またカリキュラム編纂会議のメンバーにもなりえる卒業生の掘り起しが必要である。学外実習の巡回時や就職シンポジウムに来校した卒業生から情報を聞き取っていることは評価できる。
学生支援	①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	5	就職担当を配置して、求人受付、就職事務、企業対応、新規求人開拓など、学生の就職活動のサポートを通年で実施している。また、担任教員を通じ、毎朝のSHRで求人情報を告知するとともに、学内に就職掲示板を設置し、求人票はもちろん、就職の参考資料を掲示している。図書室には、専任の司書の管理の元、各企業のパンフレットを収蔵し、就職活動の報告書も整備、加えて調理製菓の業界情報誌を多数定期購読し、学生が自由に使用できるインターネット環境も完備して、最新情報の収集が容易な環境を整備している。	特になし	5	担任を中心に、就職担当者、就職対策授業担当者が緊密な連携をとりあい、1人の学生に対して多角的な視野から助言を行ったり、情報の提供を行ったり出来ている。それにより、前述のとおり栄養士としての就職率が高いことを評価する。
	②	学生相談に関する体制は整備されているか	4	40人学級に担任と副担任を1名ずつ置き、毎日始業前にSHRを実施して学生生活のサポートを実施している。定期的な学生面談を担任を中心に実施し、また、週一回の頻度で勉強会を兼ねた学生生活相談会を実施している。	メンタルヘルスに通じたスクールカウンセラーの設置を検討	3	担任を窓口にした全員態勢で1人の学生に対応する現状は上手くいっているものの、今後、スクールカウンセラーの設置は必須と思われる。
	③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	教務課を設置し、専任事務員に各種奨学金事務を担当させている。加えて学資困難な学生への対応を、経理課中心に実施し、学費の支払い等の相談に応じている。奨学金等は、一部学生の学資を他の学生の負担に転嫁する形になってしまったため、採用はしない。		4	学校独自の奨学金に対する考え方は理解できる。奨学金については、随時学生の相談にのり、手続きの補助も手厚く行っている。また学資困難な学生の、支払い等の相談にも応じている。修学支援制度も開始した。
	④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	地域の医院が減少する中、近隣の内科医を校医に任命し、市内の中核病院と連携して健康管理を実施している。	将来的に、法人立の診療所を学園近隣に開設し、生徒の健康管理を一括で行うことを検討中	3	学校としての努力は評価する。地元医師会との連携も検討するべきである。

評価項目			自己評価	現状の認識・評価	今後の課題	学校関係者評価	学校関係者評価の概要
	⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	部活動や技術コンクールについて、人間性や技術向上に資することから、人的、物的、両面から支援を実施している。その結果、部活動においては、専門学校各種学校協会実施の体育大会で優秀な成績を修めている。特に、専門分野のコンクールにおいては、全国漁業連合会主催のお魚料理コンクールをはじめ、県内の関連団体主催のコンクールでも上位入賞の実績をあげている。	今後も良き伝統として継続していく。	4	専門技術の向上、人間性・社会性の涵養のため、また学生生活の満足度を上げるためという目的をもって、全教職員が取り組んでおり、今後の継続についても期待したい。
	⑥	学生の生活環境への支援は行われているか	5	学生の住環境整備のため、1 2 の直営寮を整備している。建物の構造も、いずれも鉄筋、鉄骨コンクリート造で、高い耐震性、耐火性を有する。セキュリティ面もオートロック完備で、監視カメラも有し、防犯面も万全に整備している。ニーズに合わせ、一人部屋、多人数部屋を選ぶようにしており、家具家電も完備して、近隣のアパート、マンションを上回る住宅設備に低廉な寮費で居住できるよう整備している。	旧式化した寮設備が生じた場合は、更新を進め、より充実した環境整備を行っていく。	5	現状の支援状況で問題は特にはないと思われる。
	⑦	保護者と適切に連携しているか	5	毎日の職員会議で問題行動が報告された生徒について、適時担任より保護者へ電話連絡を実施している。加えて期末には担任より、出席状況や生活態度についてコメントを添えた家庭連絡票を生徒全員に作成して送付している。その上、出席指導はがきを家庭に送付したり、担任との3者面談も実施、家庭との密接な連携を通じて教育目標の達成を図っている。	放任主義的な考え方の家庭も増加し、学校から保護者への連絡を拒否するケースも増加している。より効果的な取り組みを検討していく。	5	特に出席に関する連絡や報告など、保護者とのやりとりは、かなり手厚く行っており評価できる。
	⑧	卒業生への支援体制はあるか	5	定期的に学園新聞を卒業生宅へ送付したり、近況確認のはがきを送付している。加えて適時、電話及び来校にて卒業生の相談を受け付け、アフターフォローを実施、またオンラインによる管理栄養士国家試験対策講座など、卒業生がスキルアップしていくための環境も整えている。必要に応じて就職の際斡旋も生涯を通じて実施している。	今後も適切な対応を実施する。	5	希望者に対する「国家試験対策」の実施や、就職後のフォロー、再就職の世話などについて適切な対応がなされている。
	⑨	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	教育環境については大多数を占める高校新卒の生徒をターゲットにしたものであるが、社会人経験の有る入学者も存在するため、個別の相談、フォローを、担任及び就職課から実施している。夜間課程などは、本校の立地を鑑み、ニーズが存在しないことから検討しない。	特になし	3	一部の社会経験がある学生に対して特に担任との面談などを頻繁に実施し、個別の相談等に応じている。
	⑩	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	九州内外の広域にわたり、高校からの要請に応じる形で本校教員を出張授業に派遣したり、専門職としての仕事内容について各種講義を実施している。	今後も、広報課を通じ各学校への周知を図っていく。	4	現状では高校からの要請に応じる形で実施しているところだが、今後、より積極的な連携が必要と思われる。
	⑪	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか	3	学びなおしの場として、本校図書館を卒業生に対して開放している。	業界との連携という点で、出来ることがないか、検討を進める。	2	現状では積極的に実施できていないため、今後の検討を要する。
教育環境	①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5	1人1台の実習台、運動場や体育館、2 8 0 インチの師範用モニター、3 万冊以上の専門図書有する図書館など全国的に見ても稀な施設設備を有している。平成元年の小郡キャンパス移転以来、平均して4年に1度、校舎を新築しており、細かい施設改装や設備更新はほぼ毎年実施して、常に生徒の学習環境の向上を図っている。	今後も設備新築、改装を適時実施していく。	4	現状では大きな問題点はない。
	②	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	4	インターンシップについては、希望先を学生全員に聞き取り、職員会議を経てインターン先を決定して、希望の事業所に依頼を行い、必修科目として実施している。海外研修は、コロナの影響で実施できなかった。	特になし	4	綿密な計画のもと、実習施設やインターンシップ、研修の場に対応できる態勢と配慮ができている。問題はない。
	③	防災に対する体制は整備されているか	4	国の耐震、防火基準を十分に満たした、鉄筋コンクリート造で全校舎を整備しており、防火設備も完備している。定期的な防火設備メンテナンスを専門業者に委託しており、教員を防火責任者に任命し必要な講習会も受講させている。定期的に学生の避難訓練や、消火器訓練も実施している。	今後も安全性の向上に努める。	4	現状で問題はないと思われるが、今後もより安全性の向上に努める必要あり。
学生の受け入れ募集	①	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	5	広報課を設置し専任職員を置いている。九州全県、沖縄、山口を中心として、本学への入学ニーズが存在する高校全てを年複数回訪問し、進路指導教員や3年生担任を中心に本学の説明を実施し、必要な情報提供を適時行っている。さらには、WEB上では毎日更新の学園ブログや各SNS媒体を通じて学生生活の様子を配信し、3 0 年以上発行している平岡学園ニュースを3 か月に1 回、各高校に送付して、情報提供を行っている。	特になし	5	広報課の取り組みに加え、必要に応じ、担任から高校への報告相談を含む情報提供を行うなど、綿密に行っている。
	②	学生募集活動は、適正に行われているか	5	広報課を設置し専任職員を置いている。福岡県専修学校各種学校協会が、福岡県教育委員会等との協議で定めた学生募集の指針を遵守して、適正な学生募集を実施している。	特に高校生の学習環境に配慮して適切な募集を実施する。	5	極めて適正に行われている。
	③	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	5	学生要覧、ホームページ、本学広報課職員のガイダンス参加等を通じ、適正な情報提供を実施している。	適切に更新を行っていく。	5	いずれも正確に伝えられている。
	④	学生納付金は妥当なものとなっているか	5	適正である。	増税等の社会情勢変化に適時対応し、合理的な学費設定を実施する。	5	適正である。

評価項目			自己評価	現状の認識・評価	今後の課題	学校関係者評価	学校関係者評価の概要
財務	①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5	中長期的に、教育水準の向上・維持のため、定期的な施設設備更新を継続的に行いつつ、学校運営を行えるだけの財務基盤を有する	今後も安定性を最重視し、投機的な運用はせず、教育環境の充実を最優先にする。	5	財務基盤については極めて安定していると評価する。
	②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5	有効かつ妥当である。	今後も安定性を最重視し、投機的な運用はせず、教育環境の充実を最優先にする。	5	有効かつ妥当である。
	③	財務について会計監査が適正に行われているか	5	公認会計士による財務資料作成と、監事による適正な監査がなされている	引き続き適正な運営を実施する。	5	財務について、運営および会計監査について極めて適正に行われている。
	④	財務情報公開の体制整備はできているか	5	ホームページを通じ、適正に公開を行っている	特になし	5	財務情報公開の体制整備は問題ない。
法令等の遵守	①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5	問題はない。	特になし	5	法令、専修学校設置基準等は遵守され、かつ運営は適正に行われており何ら問題はない。
	②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5	学生の個人情報保護のため、必要な措置を適時実施している。	SNSの普及など、社会情勢が変介しているので、教員を中心に個人情報管理についての指導を徹底していく。	5	学生の個人情報保護のための必要措置、また個人情報を管理する教職員への徹底した指導など、適正な対策がとられている。
	③	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	特に問題はない。	特になし	4	問題なし。
	④	自己評価結果を公開しているか	5	適正に公開している。	特になし	5	問題なし。
社会貢献・地域貢献	①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	コロナの影響でまだ万全ではないが、今後、積極的に実施検討していく。	特になし	3	自治体とも連携し、地域に開かれた学校を目指してほしい。
	②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	コロナの影響で現在のところ実施できていないが、今後、積極的に実施検討していく。	今後も要請に応じて協力していく	3	外部に出での社会貢献活動も頑張してほしい。
	③	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3	コロナの影響で現在のところ実施できていないが、今後、積極的に実施検討していく。	社会情勢を見て改善していく	3	今後に期待する。
国際交流	①	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	2	広報課を通じて、市内の日本語学校２校と連携し、語学学習後、専門技術の習得を希望する外国人を募集している。	特になし	4	特に問題なし。
	②	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	5	教務課を介して、適時関係諸機関への届け出、報告などを適正に実施している。	特になし	3	特に問題なし。
	③	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	0	現状、留学生が学内に存在しないため、将来的に整備を見据えて準備を行う。	特になし	0	特に問題なし。
	④	学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	3	卒業証明書、成績証明書について、英語での発行を実施している。	特になし	3	現状での問題点は特になし。今後は必要に応じて対応可能である。